

5 結果の概要・考察等

○問1 学校給食が「おいしい」「どちらかといえばおいしい」は、前年度よりわずかに増加、過去最高(図1)

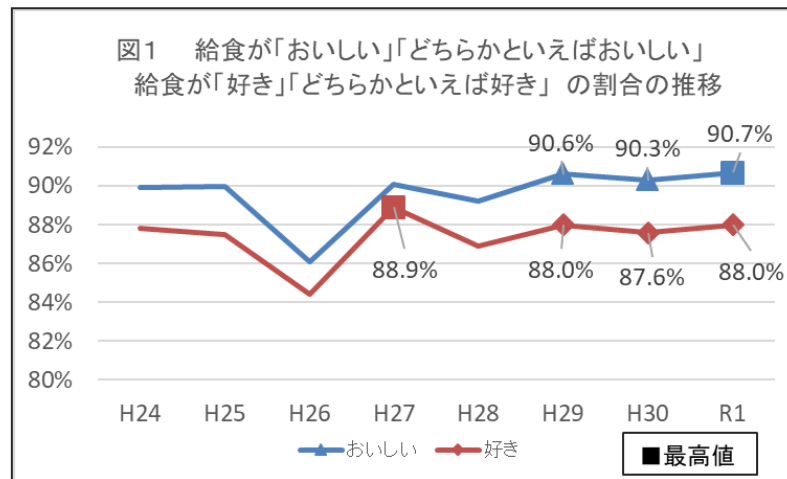
90.6% (H29) →90.3% (H30) →90.7% (R1)

令和元年度の小学校では92.1%、中学校で84.9%、特別支援学校では95.0%の児童・生徒が学校給食を「おいしい」「どちらかといえばおいしい」と答えた。

○問2 学校給食が「好き」「どちらかといえば好き」は平成29年度より横ばい(図1)

88.0% (H29) →87.6% (H30) →88.0% (R1)

令和元年度の小学校では89.1%、中学校で83.1%、特別支援学校では92.2%の児童・生徒が学校給食を「好き」「どちらかといえば好き」と答えた。



○問3 学校給食が好きな理由に「先生と一緒に食べることができるから」など3項目が昨年度より大幅に増加

「先生と一緒に食べることができるから」 25.2% (H29) →24.9% (H30) →28.9% (R1)

「家で食べられない料理を食べることができるから」

49.3% (H29) →49.6% (H30) →52.1% (R1)

「みんなと一緒に食べることができるから」 61.5% (H29) →62.3% (H30) →64.3% (R1)

中学校では、全項目で大幅に増加。また、6割以上の生徒が「おいしいから」(66.1%)、「みんなと一緒に食べることができるから」(63.8%)と回答している。

問1～3については、平成30年度より実施している「ふくいの地場産学校給食推進事業」において、本県の特産食材など地場産食材を使用した学校給食の提供とそれらを教材とした食に関する指導を継続的に行っていること等の成果の現れであると考える。

今後も、さらに魅力ある学校給食を心がけるとともに、栄養教諭と学級担任等が連携して給食を教材とした食に関する指導の充実を図り、学校給食への関心を高めていくことが必要である。

○問4 食事で気をつけていることに「あいさつ」「残さない」「1日三食食べる」に多く回答(図2)

「あいさつをするようにしている」 89.7% (R1) : 89.6% (小)、90.0% (中)、89.8% (特)

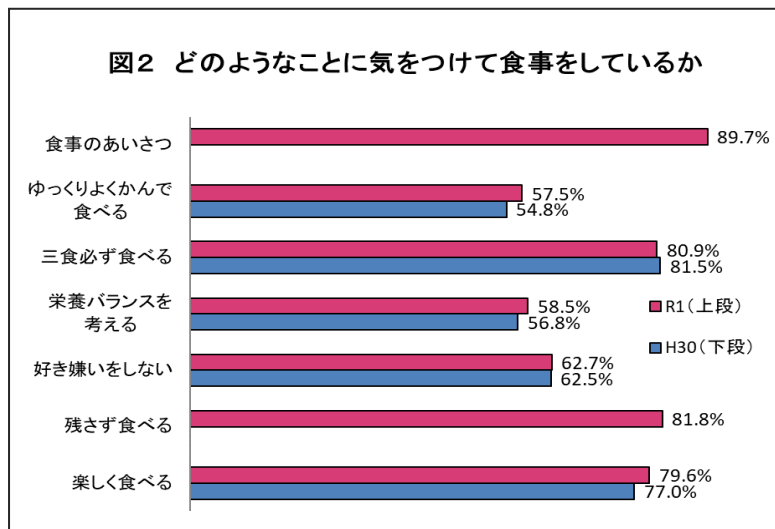
「残さず食べるようにしている」 81.8% (R1) : 80.8% (小)、86.2% (中)、79.2% (特)

「三食食べるようにしている」 80.9% (R1) : 81.6% (小)、77.5% (中)、91.8% (特)

その他、「ゆっくりとよくかんで食べる」「楽しく食べるようにしている」が前年度より2ポイント以上増加している。

各学校において、児童生徒の食に関する意識や実態をしっかりと把握し、家庭や地域との連携を図りながら食に関する指導を行っていること等の成果であると考える。

今後も引き続き、各学校において、栄養教諭を中核としたPDCAサイクルに基づく食育を推進していくことが求められる。



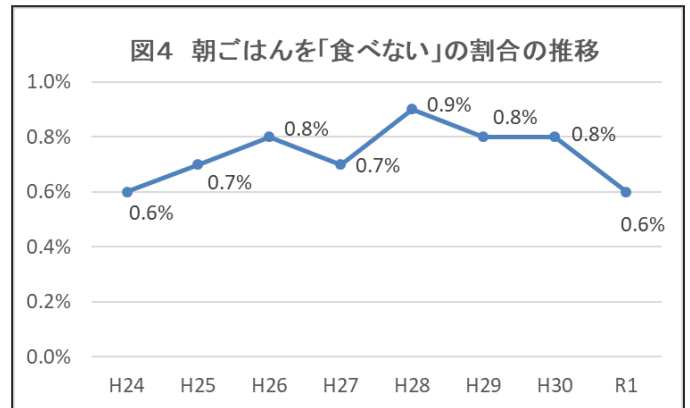
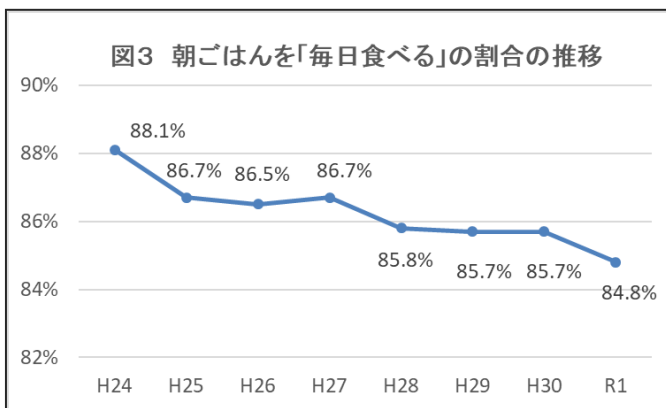
○問5 朝ごはんを「毎日食べる」は減少傾向(図3)、「休日以外は食べる」は前年度より増加

85.8% (H28) →85.7% (H29) →85.7% (H30) →84.8% (R1)
 令和元年度「朝ごはんを毎日食べる」と答えた児童・生徒は、小学校 85.6%、中学校 81.0%、特別支援学校 89.9%

朝ごはんを「食べない」は減少傾向(図4)

0.9% (H28) →0.8% (H29) →0.8% (H30) →0.6% (R1)

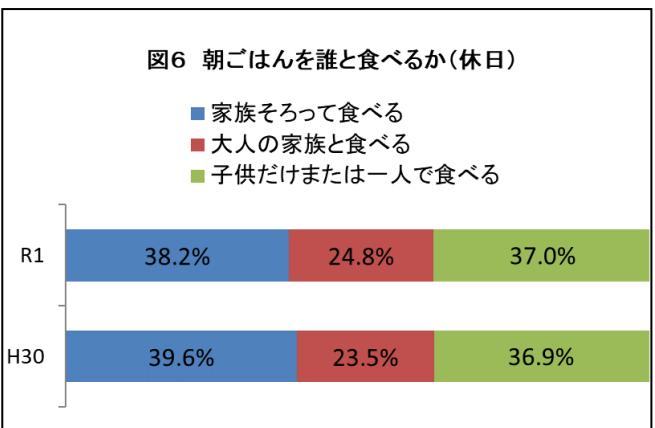
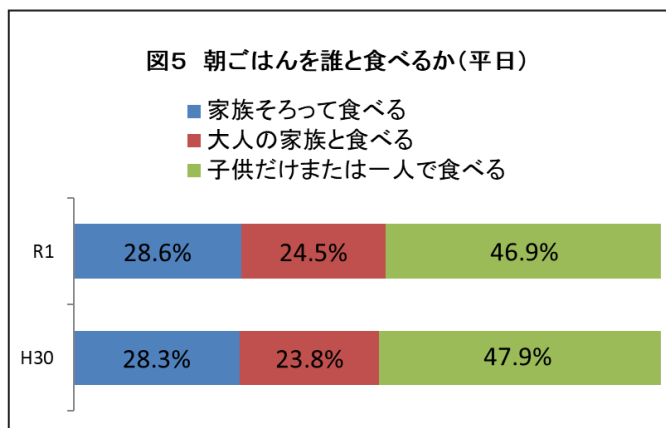
「朝ごはんを毎日食べない」と答えた児童・生徒は、小学校 0.5%、中学校 1.1%、特別支援学校 0.9%。小学校は 0.1 ポイント、中学校は 0.4 ポイント減少した。



○問6 朝ごはんを「家族そろって食べる」「大人の家族と食べる」児童・生徒は、平日:前年度より増加(図5)
 休日:減少傾向(図6)

平日 53.1% (H29) →52.1% (H30) →53.1% (R1)

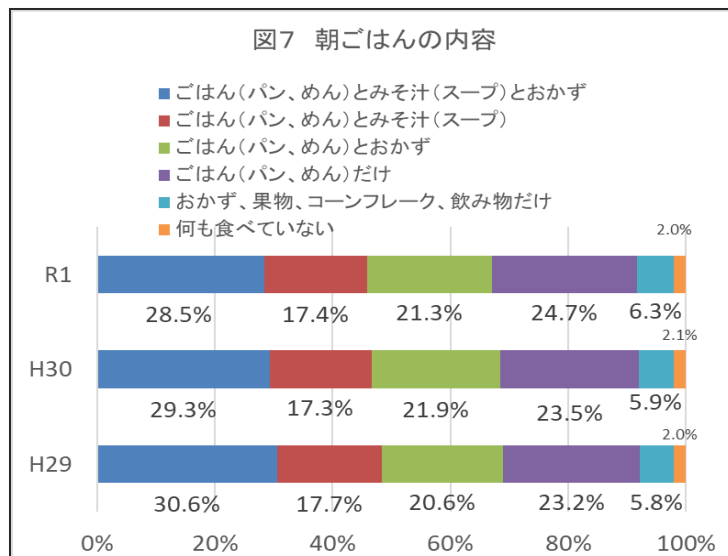
休日 63.7% (H29) →63.1% (H30) →63.0% (R1)



○問7 朝ごはんの内容は「主食+汁物+おかず」は減少傾向、「主食だけ」「単品のみ」は増加傾向(図7)

「主食+汁物+おかず」	30.8% (H28)	→30.6% (H29)	→29.3% (H30)	→28.5% (R1)
「主食のみ」	23.1% (H28)	→23.2% (H29)	→23.5% (H30)	→24.7% (R1)
「単品のみ」	5.7% (H28)	→5.8% (H29)	→5.9% (H30)	→6.3% (R1)

令和元年度「主食だけ」「単品のみ」と答えた児童生徒は、小・中ともにあわせて3割程度。



朝ごはんについては、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を確立するため、「朝食摂取」と「栄養バランスのとれた食事」の重要性を児童生徒に指導していくとともに、家庭・地域へのさらなる啓発が必要である。また、家族が食卓を囲み、同じものを食べながらコミュニケーションを図る「共食」は、子どもの食習慣を形成する上で重要な役割を果たす。「共食」の習慣づくりについても家庭へ推進していくことが重要である。

○問8 起きる時間は小学校で「5時～7時」が9割以上でおおむね横ばい。中学校で「5時～6時」が増加傾向「7時以降」が減少傾向

小学校「5時前～7時」	96.2% (H29)	→95.8% (H30)	→95.8% (R1)
「7時～8時過ぎ」	3.8% (H29)	→4.2% (H30)	→4.2% (R1)
中学校「5時～6時前」	14.4% (H29)	→15.5% (H30)	→18.5% (R1)
「7時～8時過ぎ」	11.5% (H29)	→9.5% (H30)	→7.5% (R1)

寝る時間は小学校高学年で「11時～12時前」が前年度より増加。中学校で「9時前～10時」で前年度より大幅に増加。「10時～12時過ぎ」で大幅に減少

小学校(高)「11時～12時前」	5.5% (H30)	→6.1% (R1)
中学校「9時前～10時前」	11.9% (H30)	→28.0% (R1)
「10時～12時過ぎ」	88.1% (H30)	→72.0% (R1)

6 今後の取組

○食育教材「ふくいこども食育チャレンジ」を活用した食育の推進

給食の時間や各教科等において、本県独自の食育教材「ふくいこども食育チャレンジ」を活用し、栄養教諭を中核とした学校における食育を推進し、児童生徒の心身の健康と正しい生活習慣の育成を目指します。

○「早寝早起き朝ごはん」運動等を通じた「共食」の推進

朝ごはんの調理実習等、子ども・保護者等対象に食に関する体験活動等を実施し、「早寝早起き朝ごはん」とあわせて共食の習慣づくりを推進します。

○地場産学校給食の提供とそれらを教材とした食に関する指導の実施

地域の農林水産業や食文化への理解を深め、ふるさと福井を誇りに思う心を育てるため、本県の特産食材など地場産食材を使用した「ふくい地場産学校給食」を児童生徒に提供し、地場産給食を教材とした食に関する指導を実施します。